



東京電力(株)東通事務所 広報誌

ゆきしろみず

Vol 4

春号

2006.3.31

発行/東京電力株式会社 東通事務所 〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303 TEL0175-48-2121(代)・FAX0175-48-2019
ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/higashidori~np/index~j.html>



残雪の中に咲く福寿草

平成18年度供給計画における 東通原子力発電所の計画について

当社はこのたび、「平成18年度供給計画」を経済産業大臣に届出いたしました。このうち、電源設備計画につきましては、安定供給、エネルギーセキュリティの確保を基本に、経済性、運用性および環境への適合などを総合的に勘案し、原子力を中心とした電源のベストミックスを着実に推進してまいります。

東通原子力発電所の計画につきましては、これまでの漁業補償交渉等の諸手続を考慮し、1号機を前年から1年遅れとしました。2号機については電力需要の下方修正を踏まえ、以下のとおり見直しました。

当社といたしましては、本計画を着実に進めていきたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

〔平成18年度計画〕

	出力	着工	運転開始
1号機	138.5万kW	20年度	26年度
2号機	138.5万kW	22年度以降	28年度以降

〔参考〕〔平成17年度計画〕

	出力	着工	運転開始
1号機	138.5万kW	19年度	25年度
2号機	138.5万kW	21年度以降	27年度以降

特集

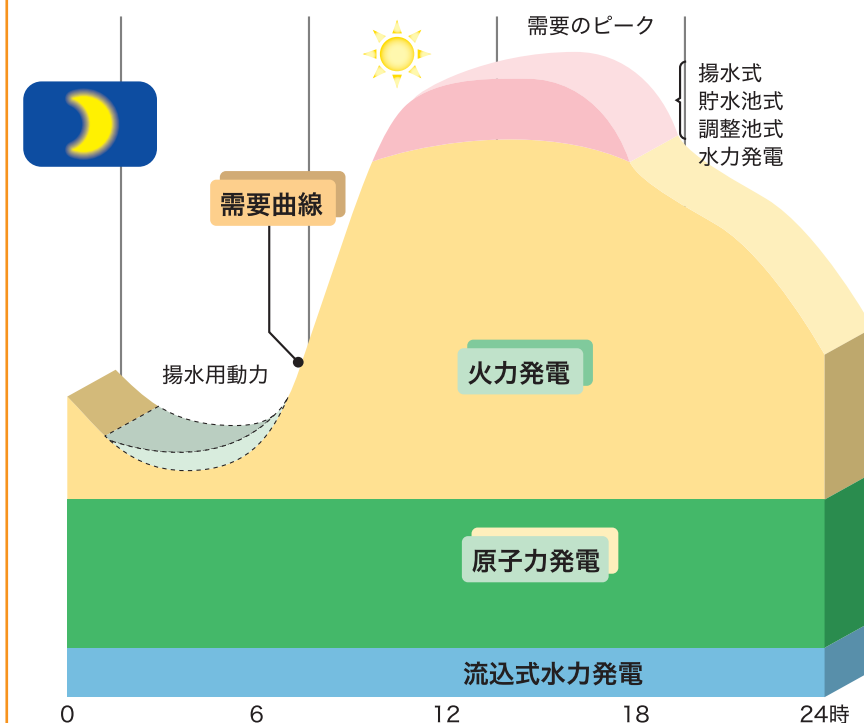
平成18年度
供給計画



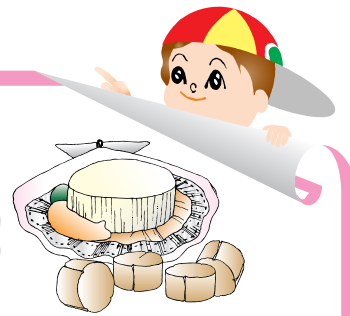
電気を安定してお届けするためには、「電源のベストミックス」が必要!

電気は貯めておくことができません。また、電気は季節や時間帯によっても使われる量が違います。こうした状況の中で、電気の需要の変化に対応し安定してお届けするためには、一つの電源に頼るのではなく、水力、火力、原子力などの発電方式の特性を活かし、リスクを分散させてバランスよく組み合わせることで、つまり「電源のベストミックス」が必要です。

需要の変化に対応した電源の組み合わせ



【出典】「原子力2001」資源エネルギー庁



帆立、蕎麦、地酒など 東通ブランドを首都圏や中国へ売り込もう!

—「ひがしどおり海山喰(か)さまい」創出プロジェクト—

村の特産品を売り込もうと東通村商工会(二本柳雄作会長)が取り組んでいる「ひがしどおり海山喰(か)さまい」創出プロジェクト。中小企業庁が進める2005年度「JAPANブランド育成支援事業」に選ばれ、昨年7月から“東通ブランド”創出を目指して積極的な取り組みが行われています。

「ひがしどおり海山喰(か)さまい」創出プロジェクトは、東通の大自然に育まれた海と山の幸である帆立、蕎麦、地酒、ブルーベリー、東通牛などを、首都圏や中国の上海、大連の本物志向の消費者や、高級ホテル、レストランに高品質な食



創作料理に舌鼓

材“東通ブランド”として売り込もうと展開しています。まずは、村、県、漁協、事業者など実行委員会を組織し、国内外の市場調査、加工品開発、展示会・商談会の開催、イメージキャラクター作成など積極的に取り組んできました。

昨年11月、中国・大連市で行った村特産の大型外海地まき帆立の干し貝柱をPRする、展示・試食・商談会では、「美味しい」等の声も多く、グルメ向けの高級食材として手応えを感じたそうです。

そして12月、数々の特産品の中から、帆立干し貝柱は「ノ

ウシ☆海峡ホタテ干し貝柱」、手打十割蕎麦は「東風(やませ)十割」、フノリとクマザサ入りの変わりそばは「東風山海」、そばの付け合わせの揚げ物は「三寿揚げ」、ブルーベリーは「北緯41°青い瞳」、地酒は「祈水(きすい)」で、使用する水は「ジュラ紀湧水」と命名。

ブランドマークのデザインも決めました。



あいさつする二本柳商工会長

今年の2月には東京都新宿区にあるセンチュリーハイアット東京で「ひがしどおり海山喰(か)さまいフェア」を開催し、ホテルの総料理長・坂本暢氏が東通村の食材を使って「干し貝柱の冬瓜(とうがん)詰蒸し」「リプロースのステーキ香草焼き」「ブルーベリーパイ」などの料理を創作しました。試食会では新鮮な食材に関心が寄せられ、商談に向けて話し合う姿も見られたそうです。

東通村の越善靖夫村長は「東通の豊かな自然で育まれた、安全、安心、美味しい食材を、東通オリジナルブランドとして国内はもちろん海外市場まで販路を広げたい」。商工会の二本柳雄作会長は「来年度も続けて東通ブランドを確立させたい」と意欲的に話していました。



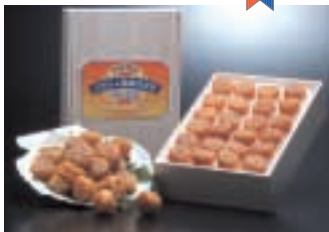
商談コーナー



フェア会場の様子

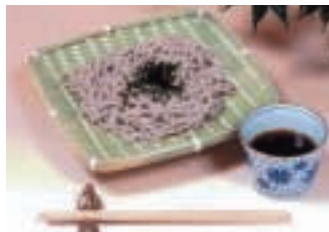


JAPANブランド創出プロジェクト 東通ブランドの紹介



●外海自然漁法
ノウシ☆海峡ホタテ干し貝柱

津軽海峡の荒波で、ほとんど自然の状態で育ったホタテは貝柱がとて大きく、生食用はもとより、料理の素材としては絶品です。干し貝柱は天日干しで干しあげたもので自然成分をそのままに生かし、食材としては超一流といえます。



●手打ち十割そば
東風(やませ)十割

厳しい北国の自然の中で育まれた東通村産100%のそばを石臼で挽いたそば粉で作った、体に良いルチンのたっぷり含まれた自慢の逸品。
心地良い歯ざわりとさっぱりした喉ごしは絶品です。



●特別純米酒
祈水(きすい)
(ジュラ紀湧水仕込)

東通村産の酒米「駒の舞」と東通村にある1億5千年前のジュラ紀の地層からの湧水「ジュラ紀湧水」で造った純米酒で、口あたりもさっぱりと仕上げました。

香りと口あたりは純米酒の最高峰と杜氏も絶賛。東通村の賜物「祈水」、今宵一献。



●オリゴ糖入り手づくりブルーベリージャム
北緯41°青い瞳

東通村で栽培されたブルーベリーは小粒ながらも栄養価が高く、無農薬で育ったブルーベリーはアントシアニンをはじめ、健康成分がたっぷり含まれています。美容と健康に最適なジャムに仕上げました。

参加報告

第7回 寒立馬と歩こう東通村スキーのつどい

〈平成18年2月12日〉

寒立馬に甘酒・アットホームムードで終始楽しいつどいでした。

東通村の尻屋崎周辺において「第7回寒立馬と歩こう東通村スキーのつどい」が開催され、当事務所からも会場スタッフとして2名の他、所員と家族18名がクロスカントリースキーに参加しま



した。

当日は、朝から吹雪に見舞われ、あいにくの天気でしたが、村内の小中学生や一般の参加者約430名が1、3、4、5キロのコースにそれぞれわかれてスキーを楽しみました。また、寒立馬が冬場の時期を過ごすアタカ放牧地には休憩所が設けられ、我々も振る舞われた甘酒で体を温めながら、寒立馬に触れたり一緒に写真を撮るなど、寒立馬とふれあい、楽しいひとときを過ごしました。



まさかの半島豆知識

みんなでヨーク考えてみよう!

ゆきしろみずミニミニ

クイズ

〈問題〉青森県はその名の通り青い森が広がり美しい自然を誇る県です。

ここ東通村もそれに劣らない木々の緑がいっぱいで自然の森がきれいな村です。このような自然をこれからずっと大切にしていきたいものです。

さて、問題ですが、次の3つの木の写真のうち「東通村の木」にも指定されている秋に赤い実をつける「イチイ(おんこ)」の木は何番でしょうか?



応募方法

12月号の答えは②でした

答がわかった方はハガキに答え、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見・ご感想をお書きの上、下記までお送りください。正解者の中から抽選で30名様に図書カードをプレゼントいたします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。〈応募締切/平成18年4月28日(金) 消印有効〉クイズの答えは次号に掲載いたします。

送り先/東京電力(株)東通事務所 広報グループ宛
〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303



図書カード

※応募総数30通で全員正解でした。

個人情報の取り扱いについて 上記記入いただきましたお客様の個人情報は、本クイズに関する賞品・郵便物等の発送を目的とし、第三者に開示・提供することはありません。



- 子供も楽しんで読めるようなコーナーも作って欲しいと思います。(六ヶ所村 Nさん)
- 毎回、地域イベントの参加報告を読ませてもらい「こんなイベントがあるんだなあ」と知ることができいいと思います。また、今回、原子力発電所の数を見てびっくりしました。もっと少ない数しかないと思っていました。安全第一で電力が作れるようにがんばって下さい。(六ヶ所村 Tさん)
- 盛りだくさんの掲載だと思えます。食べ物も企画をお願いします。(六ヶ所村 Sさん)

- 船釣りの船の周囲に浮んでエサを期待して釣人を見ている姿は何とも可愛いものだ。小魚を放り投げると争ってエサにむかって来る。釣人はカモメのことを権兵衛と呼んで親しみをこめている。エサをもらえない時は甲高い猫声で催促しているように啼く。やかましいと怒鳴ると飛び去るカモメもいて面白い。(むつ市 Oさん)
- 東通の“しおさいラーメン”食べてみたらとてもおいしかったです。東通の特産品いろいろ知りたいので特集してみてください。たのしみにしています。(野辺地町 Sさん)

- 毎回「ゆきしろみず」を拜見させて頂いていますが、東通の記事が多いので必ず知った人の顔があり、家族の話題になり、家族みんなで楽しみにしています。いつも楽しい広報誌ありがとうございます。(東通村 Aさん)



■ 当広報誌に関してのご意見、ご感想をお寄せください。また、地元の皆様から広く投稿を募集しております。

● ご意見、ご感想のお問い合わせ

東京電力株式会社 東通事務所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303

TEL0175-48-2121(代)・FAX0175-48-2019(月~金・平日午前9時~午後5時)

6月号(夏号)の主な内容予定

表紙写真/緑萌ゆる東通村・東電トビックス・エネルギーの扉・村民の笑顔・イベント参加報告・ゆきしろみずミニミニクイズetc

編集後記

春の足音があちらこちらで聞こえてくるようになり、ようやく長い冬も終わりに近づいてきましたね。

今年の冬は例年よりも雪が多く、皆さまは除雪作業が大変だったのではないですか?私はこちらへ来て2年目の冬を迎えましたが、今年は慣れない雪かきで腰を痛めてしまいました。

さて、「ゆきしろみず」は今回で1シーズンが終わります。毎回ご愛読いただきありがとうございます。来年度も引き続きご愛読のほどよろしくお願いたします。